



▲イベント名は、身近に音楽（MUSICA＝ムジカ）を体感してもらいたいとの思いから名付けました。

音楽文化の継承でまちを明るくしたい

“ミジカなムジカ”を企画した「安来高校吹奏楽部」

部長の松本未来さん（2年）は「目標の一つは若者に来てもらうこと。みんなで話し合い、普段安来で見聞きできない幅広いジャンルの出演者を集めました」と話すように、周囲の協力を得て市内外の11団体が出演。また、副部長の高橋杏実さん（同）は「自分たちが楽しめる内容にしたいので、飲食しながら聴く、演奏者の息遣いをダイレクトに感じる空間にするなど

工夫しました」と話します。しかし、初めての取り組みだったので宣伝などの準備は不安と苦労続いだつたと言います。ときには一人一人の思いが強く、ぶつかったことがあつたとのこと。それでも「多くの人が笑顔で聴いているのをつぶさに見ることができ、企画してよかった」と高橋さんは振り返ります。また、松本さんは「準備を通じて先を見据えて行動するようになりました」と自分たちの変化を感じています。

広戸教諭は「自分たちの思いを実現する過程で主体性や使命感が出てきた」と話し、その結果「音楽をやることの意義を持つようになり、聴く人に伝えようとする姿勢につながっています」と明かします。

▼道の駅あらエッサに小型発電機を寄贈した日本道路建設業協会の伏見中国支部長は、阪神淡路大震災のときに被災。「災害時には電気が必須になると感じた」という自らの経験から、発電機の寄贈を行っているそうです。自分が経験したことがどう生かせるのか。私もこれから考えていきたいです（旬）

●資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等につきましては、地域振興課（☎23-3067）までご連絡ください。



安来を音楽で明るくしたい。このテーマに挑戦しているのが安来高校の吹奏楽部の皆さんです。1月19日には音楽イベントをアルテピアで開催し、子どもから大人までの多くの人に生演奏の良さや音楽の楽しさを伝えました。「同部は以前から地域のイベントなどで出張演奏に取り組んできました。そんな中、平成29年に開館したアルテピアが一つの転機になりました

た」と話すのは顧問の広戸茉莉教諭。「部員たちから、『施設が完成したけど友達は行っていない』『アルテピアを盛り上げたい』という声が上がりました。そこで、これまでとは違った地域貢献として地域の課題研究に取り組むことになりました」。



▲お子さん向けの楽器の体験。生の楽器に触れてほしいという思いからメニューに加えました。

編集後記

安来市の人口と世帯数 R2.1.31現在

人口合計／ 38,318人
(男:18,412人 女:19,906人)
世帯数／14,368世帯



R70

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用